

図 5.3-14 携帯ボトルを対象とした漂流経路の計算結果

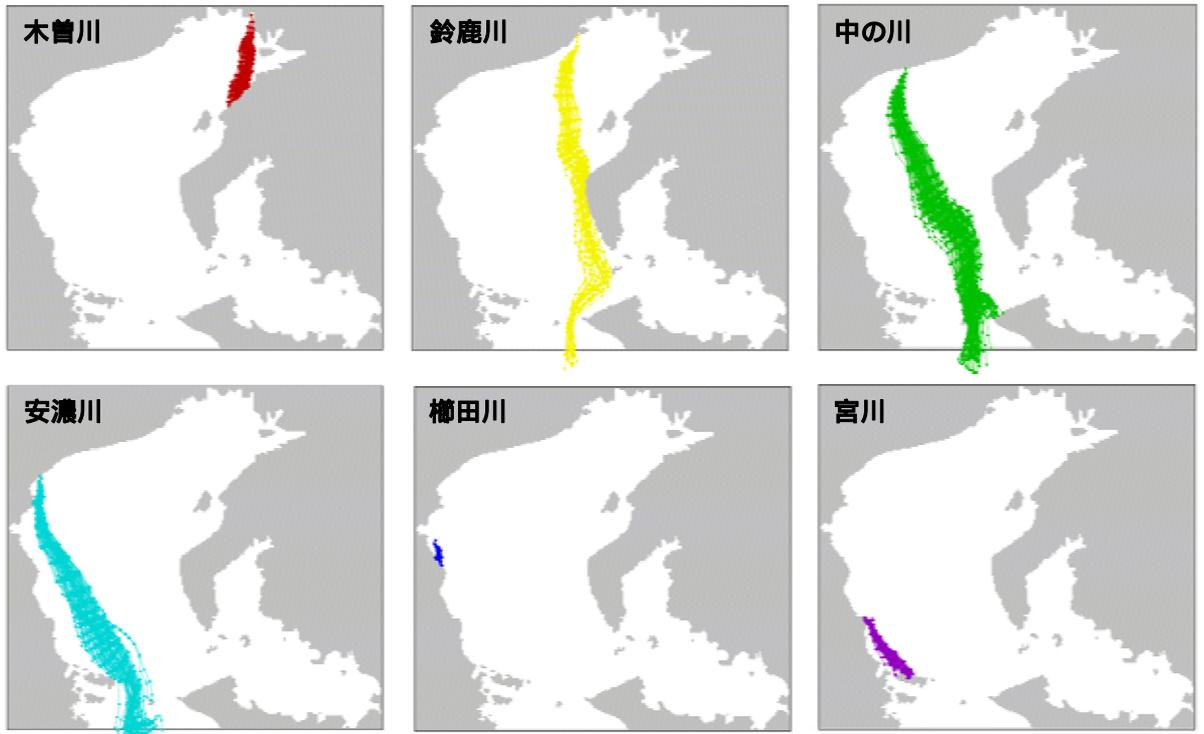


図 5.3-15 生分解性ボトルを対象とした漂流経路の計算結果

(2) 夏季シミュレーション結果（平成 20 年度）

a. 流動場の計算結果

小潮の期間における流入と流出最強時の表層流速ベクトルの水平分布図を図 5.3-16 と図 5.3-17 に示す。流速は湾口部で大きく 0.7m/s 程度となっている。湾中央部や湾奥部では流れは弱く、流速は数 cm/s である。

大潮の期間における流入と流出の際教示の表層の流速ベクトルの水平分布図を図 5.3-18 と図 5.3-19 に示す。小潮時と比較して伊勢湾全体で流速は強くなっており、湾口部では流速が 1m/s 以上となっている。また、湾中央部や湾奥部でも 10 から 20cm/s の流れが形成されている。

図 5.3-20 に 20 日間平均した表層流速ベクトルの水平分布図を示す。湾口部には反時計回りの渦が存在しており、0.3m/s 程度の流れが形成されている。湾奥部、湾中央部では東側の流れが強く、湾口に向かって流れている。

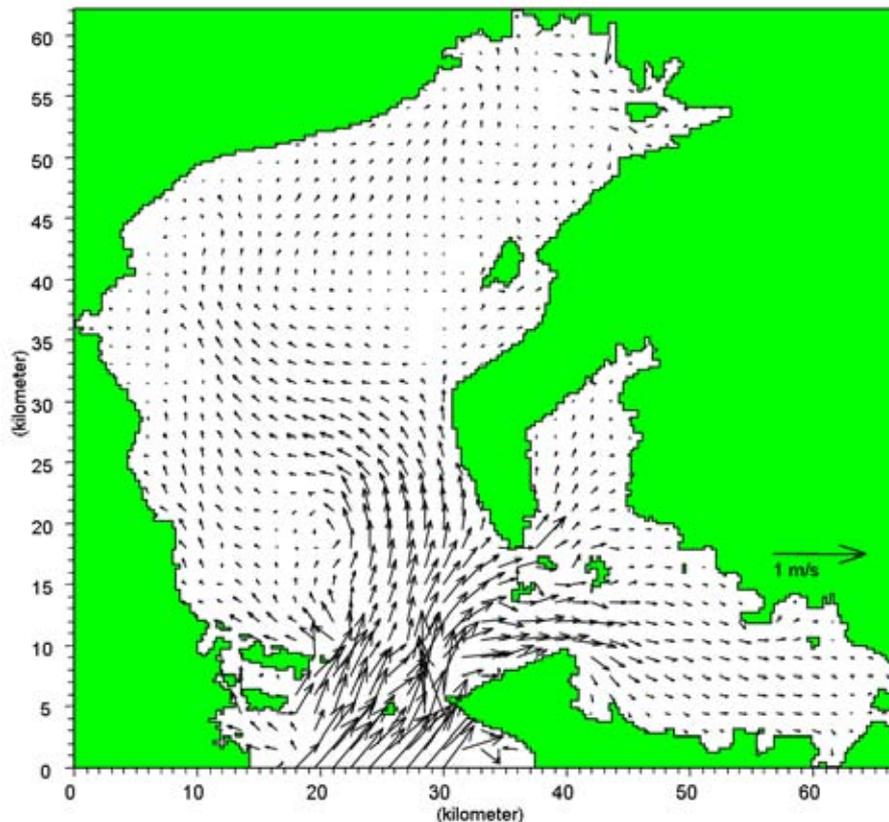


図 5.3-16 小潮期間の流入最強時の流れの水平分布図